

国連生物多様性の 10 年日本委員会 (UNDB-J)
平成 26 年度事業実施結果

★ 新規事業
☆ Iki・Tomo 推進事業
【 】 Iki・Tomo 推進事務局

1. 生物多様性に関する行動の呼びかけ

☆ (1) MY 行動宣言 5つのアクション【CEPA ジャパン】

- ・新たに 18 件のイベント（参加者数約 3,242 人）で活用
（平成 26 年末時点：130 件のイベント（参加者数 28,792 人））

★☆☆ (2) 生物多様性アクション大賞による表彰【CEPA ジャパン】

- ・UNDB-J 主催事業としてセブンイレブン記念財団との共催にて実施
- ・124 の応募から審査を経て選ばれた、5 つの部門賞ほか特別賞について授賞式を開催

2. 主流化に向けた活動プログラム

(1) 「生物多様性の本箱」の普及

- ★☆☆ 常設展示、企画展等実施施設の増加（平成 27 年 1 月末日時点：46 施設）
- ・東北の施設への全冊指定寄附（経団連自然保護協議会）【日本自然保護協会】
→H26 寄贈先：
- ★ 特定非営利法人松川浦ふれあいサポート（福島県相馬市）
- ・地球の楽好親子サロン「ボヌールド サクラ メルシィ」（福島県福島市）

☆ (2) 連携事業の認定【国際自然保護連合日本委員会】

- ・UNDB-J が推奨する連携事業の認定
9 月 第 5 弾 10 事業認定
3 月 第 6 弾 10 事業認定

(3) グリーンウェイブ【国土緑化推進機構】

- ・グリーンウェイブ 2014 実施結果（別紙参照）
参加団体 367 団体、協力団体 193 団体
参加人数約 51,000 人、植樹本数約 98,000 本
- ・3/1～グリーンウェイブ 2015 の開始に向けて報道発表による広報を実施

☆ (4) 生物多様性出前講座【日本自然保護協会】

- ・ウェブサイト移転等業務に伴い、今年度は中止。

3. セクター間の情報交換

(1) 生物多様性全国ミーティング

- ・10/24 愛知県豊橋市で「第 4 回生物多様性全国ミーティング」を開催（約 450 名）

(2) 生物多様性地域セミナー

- ・大分県 世界農業遺産である国東半島において、生物多様性と農林水産業との繋

がりを考えるパネルディスカッションを開催（約 180 名）

- ・北海道札幌市 円山動物園において認定連携事業事例紹介、テーマ別動物園ガイドツアーを実施（約 90 名）
- ・宮城県大崎市 「第 3 回生物の多様性を育む農業国際会議 2014」との共催により田んぼの生物多様性を考える子ども向けワークショップを開催（午前：750 名、午後：約 50 名）

4. 情報発信

（1）広報誌

- ・一般生活者を対象とした普及啓発用小冊子として、自然の恵みを感じる生物多様性マガジン「Iki・Tomo」を 3 回発行
Vol.8「旅と生物多様性」（協力：(株)JTB）
Vol.9「野生の恵みと生物多様性」（協力：丸の内シェフズクラブ）
子ども向け特別号

☆（2）生物多様性.com【日本自然保護協会】

- ・2 月テストサイト運用開始（H27.5 本格稼働 予定）

（3）Iki・Tomo パートナース

- ・Iki・Tomo パートナースへの新たな参画を広く呼びかけ
- ★（平成 26 年末時点：1465 人。昨年度末比約 450 人増加）
- ・認定連携事業や子供向け推薦図書をはじめとする UNDB-J の様々な取組のほか、UNDB-J 構成団体の取組を広く発信

（4）環境教育

- ・企業、NPO/NGO、教育機関向け環境教育のためのヒント集を作成中。

（5）UNDB-J ウェブサイト

- ・サイト移転実施(2 月)

（6）広報ツール

- ・リーフレットやブックマーク等を活用して各セクターに働きかけ

（7）特別事業

- ☆・COP12（10/6～17 韓国 平昌（ピョンチャン））において、UNDB-J の活動を国際的に発信するサイドイベント「UNDB-Day」を実施(10/14、別紙参照)
- ・ESD ユネスコ世界会議（11/4～8 岡山、11/10～12 名古屋）において、UNDB-J の活動についてパネル展示

5. 主流化推進チームによる広報・主流化

（1）地球いきもの応援団、生物多様性リーダー

- ・新たな生物多様性リーダーとして「森田正光」氏（大分地域セミナー）、「小菅正夫」

- 氏（北海道地域セミナー）、「大桃美代子」氏（大崎地域セミナー） 任命
（平成 26 年 3 月末時点：9 名）
- ・新たな地球生きもの応援団として「高木美保」氏、「長沼毅」氏 任命
（平成 26 年 3 月末時点：26 名）

（2）生物多様性キャラクター応援団

- ・新たに 23 のキャラクターが入団（平成 26 年 1 月末時点：114）
- ・緑の goo「里山どうぶつコレクション」に 7 キャラクターが参加

6. 委員会等の運営

- ・委員会（7 月）、幹事会（2 月）、運営部会（6 月、9 月、2 月）を開催
- ・寄付金の活用については UNDB-J 支援事業財務委員会（6 月、2 月）と連携
- ★ 国連生物多様性の 10 年の中間年である平成 27 年（2015 年）に向け、2/20 経団連会館において「国連生物多様性の 10 年中間年に向けたキックオフフォーラム」を開催。

【参考】

（1）UNDB-J 推進事業（愛称：Iki・Tomo 推進事業）について

- ・UNDB-J 活動を拡大するため、UNDB-J 構成団体による事業との連携が効果的な事業や、UNDB-J 構成団体からの提案事業等については、環境省（UNDB-J 全体の事務局）と調整のうえ、UNDB-J 推進事業（愛称：Iki・Tomo 推進事業）に位置づけ、当該団体内に事務局（愛称：Iki・Tomo 推進事務局）を設置
- ・事業の実施にあたっては、UNDB-J 全体の事務局である環境省と連携しつつ実施

（2）寄付協賛募集事業について

- ・事業規模の拡大等を図るため、事業の目的や趣旨に応じて、企業等に寄付協賛を呼びかけつつ事業を実施
- ・例えば、「生物多様性の本箱」の各作品を東北に寄贈するプロジェクトについては、各出版社への協賛（本の提供）の呼びかけや、企業等への寄付（寄贈式の実施費用の負担等）の呼びかけについても実施を検討

（3）UNDB-J タイアップ事業について

- ・企業等と UNDB-J がタイアップし、生物多様性の普及啓発ツール・アイテムを作成
- ・例えば、「Iki・Tomo」の発行については、企業等の生物多様性に関する取組を掲載する企画についても実施を検討（企業等は制作費等を負担、UNDB-J は生物多様性に関するコンテンツを提供するなど）

生物多様性アクション大賞2014 実施報告書



2014年1月

一般社団法人CEPAジャパン

生物多様性アクション大賞2014概要

1. 趣旨

国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）が推進している『5つのアクション（たべよう・ふれよう・つたえよう・まもろう・えらぼう）』に貢献する団体・個人の取組みを全国から募集。優れた活動を表彰、積極的な広報を行うことにより、生物多様性の主流化を目指します。活動規模の大小を問わず、あらゆるセクターに「生物多様性の自分ごと化」を促し、「国連生物多様性の10年」の広報・教育・普及啓発(CEPA)活動の一つとして、またCOP10で採択された「愛知目標」達成の一助として実施します。

2. 応募期間

2014年5月22日（木）～ 9月1日（月）

3. 主催 国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)

4. 共催 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

5. 協賛 前田建設工業株式会社、セキスイハイム、森ビル株式会社

6. 特別協力 公益社団法人国土緑化推進機構、経団連自然保護協議会

7. 協力 富士フイルム株式会社

8. 後援 朝日新聞社、毎日新聞社、環境goo

9. 事務局 一般社団法人CEPAジャパン

10. 審査のポイント

- ・ だれもが参加しやすい、取り組みやすい(参加性)
- ・ 愛知ターゲット達成に貢献している(目的性)
- ・ ユニークな活動(独創性)
- ・ 活動による影響力が大きい(波及性)
- ・ 長く続けられる(継続性、将来性)
- ・ 世界への影響力がある(国際性)
- ・ 応援したり、伝えたくなる(話題性、共感性)
- ・ 地域への貢献が高い(地域性)

11. 賞および賞品について

大賞（下記優秀賞から1組）

表彰状

副賞 ・ 賞金30万円

- ・ コンパクトデジタルカメラ1台（富士フイルム提供）
- ・ 授賞式への招待とプレゼンテーション
- ・ エコプロダクツ2014への招待とプレゼンテーション

優秀賞（各部門1組）

たべよう部門／ふれよう部門／つたえよう部門／まもろう部門／えらぼう部門

表彰状

副賞 ・ 賞金5万円

- ・ コンパクトデジタルカメラ1台（富士フイルム提供）
- ・ 授賞式への招待とプレゼンテーション

復興支援賞（1組）

東日本大震災被災地での復興支援活動を表彰します。

表彰状

副賞 ・ 賞金20万円

- ・ 授賞式への招待とプレゼンテーション

グリーンウェイブ賞（1組）

木を植えたり、森林や樹木の手入れをしたりするような、自然と触れ合いつながりを学びあう活動を表彰します。

表彰状

副賞 ・ 賞金5万円

- ・ 季刊誌「ぐりーん・もあ」への活動内容掲載
- ・ 授賞式への招待とプレゼンテーション

セブン-イレブン記念財団賞（1組）

地域社会との協働や活性化につながる活動を表彰します。

表彰状

副賞 ・ 一般財団法人セブン-イレブン記念財団発行の季刊誌「みどりの風」掲載

- ・ 授賞式への招待とプレゼンテーション

審査委員賞（6組）

表彰状

副賞 ・ 授賞式への招待

入賞

いきものぐらしHPにて活動情報の掲載

12. 審査委員（敬称略）

吉田正人（筑波大学 教授） 委員長
足立直樹（株式会社レスポンスアビリティ）
小野弘人（セブン-イレブン記念財団）
梶谷辰哉（国土緑化推進機構）
川廷昌弘（CEPAジャパン）
坂田昌子（UNDB市民ネット）
道家哲平（日本自然保護協会）
星野智子（環境パートナーシップ会議）
堀上 勝（環境省）

12. 応募部門

たべよう部門／ふれよう部門／つたえよう部門／まもろう部門／えらぼう部門

13. 応募資格

日本国内に活動拠点がある団体・個人

（注）政治活動や宗教の布教を目的として活動する団体や、公序良俗に反する活動は除く。

14. 選考スケジュール

募集・・・2014年5月22日（木）～9月1日（月）
一次審査・・・2014年9月9日（火）
二次審査・・・2014年10月1日（水）
授賞式・・・2014年11月30日（日）
エコプロダクツ2014でプレゼンテーション・・・2014年12月13日（土）

◎いきものぐらしホームページ (http://5actions.jp/)



◎生物多様性アクション大賞2014 特設サイトトップページ (http://5actions.jp/award/)



◎facebook公式ページ (https://www.facebook.com/5actions.award)

Facebook公式ページ (https://www.facebook.com/5actions.award)

生物多様性アクション大賞

Facebookページ | アクティビティ | インサイト | 設定

ファン数を増やす | ヘルプ

今日

3 ページのいいね!

13 投稿のリーチ

未読

2 お知らせ

0 メッセージ

最近

2014年

2013年

広告でページを宣伝

生物多様性アクション...

本賞は、全国各地で行われている5つのアクションに貢献する団体・個人の取り組みを表彰し、積極的な広報を行うことにより、生物多様性の主流化を目指すものです。活動規模の大小を問わず、あらゆるセクターに「生物多様性の自分ごと化」を促し、「国連生物多様性の10年」の広報・教育・...

続きを読む

http://5actions.jp/award/ 宣伝する

写真

イベントステージ

イベントステージ

イベントステージ

リーチ566人

いいね!・コメントする・シェア

投稿の広告を出す

29 1 シェア1件

生物多様性アクション大賞

Maho Sekineさんの投稿 (7) · 2014年12月13日

みなさま、こんばんは。

本日エコプロ2014のイベントステージに、生物多様性アクション大賞も参加させていただきました (275)

さかなクンのお魚クイズを交えたトークや大賞まるやま組さんの活動「アエノコト」のご紹介、生物多様性を身近に感じられるお話し盛りだくさんでした!

後日、webレポートでもご報告いたしますね(^^) ご来場いただいたみなさま、ありがとうございました☆☆☆

◎リーフレット

つないでみよう!

あなたの活動と生物多様性。

えらぼう

エコマークが付いた環境に優しい商品を選んで買います。

たべよう

地元でとれたものを食べ、旬のものを味わいます。

つたえよう

自然の素晴らしさや季節の移りを感じて、写真や絵、文章などで伝えます。

まもろう

生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に参加します。

ふれよう

生の自然を体験し、動物園・植物園などに訪ね、自然や生きものにふれます。

締切迫る!

生物多様性アクション大賞

あなたの活動を募集中 2014年9月1日(月)まで

生物多様性という言葉には、ちょっと難しいイメージがありますが、5つのアクションを切り口にすれば、誰もがもっと参加しやすいのではないでしょうか。たとえば、地産地消で旬の食材を使う食卓（たべよう）、海や川、山での自然体験（ふれよう）美しい自然や生きものの姿を写真で表現（つたえよう）、地域に根づいた伝統文化の保存（まもろう）環境に配慮した商品購入（えらぼう）など、ほかにもユニークな視点で生物多様性の保全や持続可能な利用につながる活動がたくさんあるでしょう。ぜひ、あなたの活動を「生物多様性」とつなげて、応募してみてください。ほかの誰かのアクションのきっかけにもつながるはずです。

賞

- 大賞（優秀賞から1組）——賞金30万円＋副賞
- 優秀賞（各部門1組）——賞金5万円＋副賞
- 奨励賞銀賞——賞金20万円＋副賞
- 入賞——ウェブサイトで活動紹介

詳しくはウェブサイトをご覧ください <http://5actions.jp/award/>

主催：国連生物多様性Convention 10年日本委員会（JUNDB-J）
 助成：一般財団法人エス・シー・ピー・エル・エム 公益財団法人日本学術振興会
 協賛：新田建設工業株式会社 セミスイパコム 香川県林業公社 香川県庁 公益社団法人高松市観光物産協会 経済連自治体間協議会
 協力：富士フイルム株式会社 読売：朝日新聞社 毎日新聞社 読売：京都市—一般社団法人ACEPAジャパン

2014年9月1日締切

< 表面 >

応募方法

「生物多様性アクション大賞」ホームページより応募してください。

<http://5actions.jp/award/>

応募部門

あなたの活動も生物多様性につながるかもしれません。
5つのアクションからひとつを選んで応募してください。



部門	活動例	キーワード
たべよう部門	環境負荷が少なく、その地域、季節の生きものたちの恵みでもある、地元でとれた食材や、旬の食材を使って地域の食文化を盛り出す活動。	食自給、食資源、市民農園、市民農家、伝統食、地産地消、旬産旬消、食育、フードイレイジ etc
ふれよう部門	山、川、池、植・動物園などでの自然体験を通じて、自然の中で遊ぶことの楽しさや、地域の特色、生きものとの共生や面白さを気づいてもらう活動。	自然観察会、自然体験プログラム、自然学校、インタープリター育成会、フィールドスタディーズ etc
つたえよう部門	生きものたちのさまざまな色や形、行動を観察し、自然の豊かさや生きもの移ろひを、写真や絵、文書などで記録・表現し、伝える活動。	生態調査、伝統行事、出版、ウェブ、アプリ、映像、写真、イベント、ゲーム、アート etc
まもろう部門	豊かな生態系を未来に伝えるため、森・川・池などを脅かす、自然や生きものへの過度な消費・汚染や、地域文化の保存などを行っている活動。	野生生物や伝統行事の保存、山村・里山・流域環境、自然保護活動、ナショナルトラスト etc
えらぶ部門	生物多様性のことをきちんと考えて生産・販売された商品やサービスを、その内容を調査し、消費者に提供する活動。または保護者の活動。	フェアトレード、トレーサビリティ、グリーン購入、グリーンエコノミー、エコラベル etc

応募資格

日本国内に活動拠点を有する団体・個人。

※政治活動や選挙の勧誘を目的とした活動を行う団体や、団員募集に資する活動は除く。
※詳しくは「応募」をご確認ください。

生物多様性アクション大賞とは…

「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推進している「MY行動宣言 5つのアクション」を参考に、5つのアクションに即した活動を表彰する「生物多様性アクション大賞」を設置します。

本賞は、全国各地で行われている5つのアクションに貢献する団体・個人の取組みを表彰し、積極的な広報を行うことにより、生物多様性の主流化を目指すものです。活動規模の大小を問わず、あらゆるセクターに「生物多様性の自分ごと化」を促し、「国連生物多様性の10年」の広報・教育・普及啓発（CEPA）活動の一つとして、また COP10 で採択された「愛知目標」達成の一助として実施します。本賞は第二回の開催となります。

具体的には、全国各地で行われている生物多様性の保全や持続可能な利用につながる活動を、【たべよう部門】、【ふれよう部門】、【つたえよう部門】、【まもろう部門】、【えらぶ部門】の5部門で「優秀賞」を決定し、さらに「優秀賞」受賞者によるプレゼンテーションを経て「大賞」を決定します。

選考スケジュール

募集

2014年5月22日～9月1日まで

一次審査

2014年9月上旬

二次審査

2014年10月上旬

各賞受賞発表

2014年10月(予定)

授賞式

2014年11月30日

大賞受賞者プレゼンテーション

2014年12月(予定)

最新情報はこちら

<http://5actions.jp/award/>

<https://www.facebook.com/5actions.award>

お問い合わせ先：生物多様性アクション大賞事務局

TEL：03-5459-2108 E-mail：award@ceajapan.org

＜裏面＞

◎リーフレット配布部数

約6500部

- ・ ・ ・ 審査委員＋環境goo（500部）
- ・ ・ ・ GEOC、EPO（400部）
- ・ ・ ・ 協賛、協力（2500部）
- ・ ・ ・ 受賞者、関係者（100部）
- ・ ・ ・ NPO、その他（1000部）
- ・ ・ ・ 環境省（2000部）

◎メディア掲載実績-1

【WEBメディア】

ソトコトFacebookページ

<https://www.facebook.com/sotokoto>

greenz

<http://greenz.jp/2014/08/28/bio-diversity-2014/>

沖縄県

http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/kankyo/shizenryokuka/hogo/bd_osirase.html

J-Net21

<http://j-net21.smrj.go.jp/headline/support/185559.shtml>

神奈川県

<http://eco.pref.kanagawa.jp/info/detail.php?id=2490&category=news>

EPO九州

<http://epo-kyushu.jp/about-news/grant-recruitment/290-2014.html>

EICネット

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=32377>

◎メディア掲載実績-2

【新聞】



④ エコニュース

■生物多様性守る試み募集

生物多様性の保全や持続可能な利用を進めるために国内を中

心に活動している団体や個人を表彰する「生物多様性アクション大賞2014」の募集が始まっている。

国連生物多様性の10年日本委員会（事務局・環境省）が主催。地産地消などの「たべよう」、自然

朝日新聞 2014年6月4日 夕刊 6ページ 東京本社
観察などの「ふれよう」、映像や文章などによる「つたえよう」、生態系や伝統文化などの「まもろ」秀賞を選んだうえで年末に大賞を選ぶ予定。詳細はウェブサイト (<http://5actions.jp/>)。

応募期間は9月1日まで。優

秀賞を選んだうえで年末に大賞を選ぶ予定。詳細はウェブサイト (<http://5actions.jp/>)。

< 朝日新聞 >

掲載日：2014/06/04

© 朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。
法並びに国際条約により保護されています。

© 朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

生物の多様性の
環境保全を考える

「フジノミ」大賞募集

国連生物多様性の10年
日本委員会、は、生物多
様性フジノミ大賞の、「1
4」候補となる個人・団
体の活動を募集している。

小宮原さんは、伝統的園
をけたり、製法を教えた
りして、組合を立ち上
げた。生産者は増えたと
の、作り手に高齢化しお
り、将来に不安だといっ
た。「苗に買われるまで
地域が活況を呈す」とい
うのが作りの趣意です。
小宮原さんへ送ります。

文・写真 佐橋大

二〇一〇年の生物多様性
条約年・回顧の国際会議
（OIP）で、二〇一〇年
の年間、多様な利用など
存する、多様な生態系と
国際社会で考えることが
した。同年度では「元よ
こ」「ふれま」「たぐ
よ」「まじろ」とい
ばこの五部に分け、各
優秀者を選び、これらに優
秀な活動者の「フジノミ」
審査を経て大賞（賞金三
万円）とされる。昨年大
賞は、他定と未知知の
ものをも味わう「滋養・琴
音調」（伝統的食）
詳細・応募同大賞説明書
p.s/p/award/予 締切日
は九月一日、問い合わせ
は同賞事務局（電話33
469）2108。

「アクション大賞」
1日まで応募受付
国連生物多様性の
10年日本委員会
国連生物多様性の10年日本
委員会は9月1日まで、「生
物多様性アクション大賞」の
応募を受け付けている。全国
各地で行われている生物多様
性の保全や持続可能な利用に
つながる活動を表彰する事業
で、「たべよう」「ふれよう」
「いたそう」「まそう」
「えらぼう」の5部門でそれ
ぞれ優秀賞を選定し、優秀賞
受賞者らにすのぼりプレセン
ションを経て大賞を選ぶ。
特設ページ(<http://section5.jp/award/>)から応募でき
きる。授賞式は11月30日予定
定している。

< 建設新聞新聞 >

掲載日：2014/08/18

＜東京新聞＞

掲載日：2014/08/16

[illegible][illegible]

< 日刊建設工業新聞 >

掲載日：2014/08/18

＜日刊建設工業新聞＞

掲載日：2014/08/21

[illegible]

< 宇部日報 >

掲載日：2014/08/27

＜宮崎日日新聞＞

掲載日：2014/08/29

[illegible]

応募状況

◎応募総数・・・124件

一次審査通過…59件

◎一次審査通過団体一覧(59件)

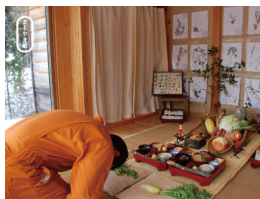
種別	団体名/チーム名	活動名	活動拠点
たへよう部門			
1 企業	株式会社ジェイティービー	JTB地球いきいきプロジェクト産良瀬遊水地「ラムサール条約湿地登録1周年記念」生井桜つつみの清掃と「ふゆみずたんぼ」稲刈り体験、生産者と消費者が一緒に取る地産地消の食事	栃木県小山市
2 市民団体	あきさわ園～Let'sみんなで里山あそび♪	Let'sみんなで里山あそび♪@旧橋町	神奈川県小田原市
3 市民団体	認定NPO法人自然再生センター	美味しい！楽しい！ためになる！ We♥中海	島根県松江市
4 市民団体	ネクスファ高柳教室	体験農園ベジフレ	千葉県柏市
5 市民団体	浦戸諸島のおかあさん	「島のおすそわけ」～自然の恵みからの商品づくり	宮城県塩釜市
6 個人	日和キッチン	日和キッチン	宮城県石巻市
7 個人	季の野の台所	心の畑も耕せる農家でやりたいための地道な歩み	愛知県知多郡
ふれよう部門			
1 企業	王子ホールディングス株式会社	王子の森・自然学校	東京都
2 企業	一般社団法人ハニーファーム	ハチ育～みつばちと自然と私達を繋げる～	愛知県名古屋市中区
3 市民団体	自然体感塾ワンダースクール	自然体感塾ワンダースクール	東京都練馬区
4 市民団体	特定非営利活動法人こんぷくろ池自然の森	市民で育てる100年の森	千葉県柏市
5 市民団体	NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク	JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイ」	東京都
6 市民団体	青少年みどり道楽舎	自然体験教育	神奈川県横浜市中区
7 市民団体	虹のとびらBLUEWALKグループ	表演BLUE WALK	愛知県豊橋市
8 市民団体	飯能市エコツーリズム活動市民の会「ヤマスメが行く」実行委員会	飯能市エコツーリズム「ヤマスメが行く」	埼玉県飯能市
9 市民団体	カシニワ・フェスタ実行委員会	カシニワ・フェスタ	千葉県柏市
10 市民団体	石垣市立伊原岡中学校	知ろう伝えよう外来生物のこと	沖縄県石垣市
11 市民団体	富山森のこども園	冒険の森づくり	富山県富山市
12 市民団体	特定非営利活動法人大山千秋田保存会	みんなで頑張る。棚田の生物多様性の普及啓発活動	千葉県鴨川市
つたえよう部門			
1 企業	埼玉県こども動物自然公園	ズーオリエンテーリング	埼玉県東松山市
2 企業	株式会社バディ・アジア・パンフィック・ジャパン	みんなで作る魚園鑑	東京都渋谷区
3 企業	東芝グループ	グローバル44拠点で取り組む生物多様性保全活動と主流化への貢献	東京都
4 企業	株式会社図書館流通センター	図書館で「生物多様性の本鑑」が読めるよ TRC普及啓発プロジェクト	東京都文京区
5 企業	京都駅ビル開発株式会社	京都駅ビル環境共生推進プロジェクト	京都府京都市
6 企業	日本航空株式会社	JAL Happy Eco Project	東京都
7 市民団体	海と空の約束プロジェクト	紙芝居、絵本を活用した判りやすい環境教育	兵庫県明石市
8 市民団体	カタクリの会	奥羽自然観察会	岩手県西和賀町
9 市民団体	特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン	生物多様性保全	東京都品川区
10 市民団体	まるやま組 ※まもう部門でも応募	土地に根ざした学びの場・まるやま組	石川県輪島市
11 市民団体	浪川いきものがたり作成支援委員会	「浪川いきものがたり」～ふるさとをのびる力を伝えよう～	滋賀県草津市
12 市民団体	宇宙箱舟製作委員会	生物や文化の多様性を体感するワークショップ「宇宙箱舟ワークショップ」	京都府京都市
13 個人	アウリコン	スタイル ～進化した絶滅種～	東京都中野区
14 個人	エコマジシャン ミヤモ	エコマジシャン ミヤモ	東京都練馬区
15 個人	世界一田めになる学校 豊岡クラス	コウノトリ米を食べて豊岡の田んぼを守る！	兵庫県豊岡市
16 個人	宮沢ありあ	お台場の海について	東京都世田谷区
まもう部門			
1 企業	松本技術コンサルタント㈱	川にネコヤナギを植える活動	大分県中津市
2 企業	株式会社東芝 セミコンダクター & ストレージ社姫路半導体工場	カワバタモロコの飼育・保護拡大	兵庫県姫路市
3 企業	YKK株式会社	ふるさとの森づくり	富山県黒部市
4 企業	ソーニー・エムシー・エス株式会社幸田サイト	ソーニーの森(在来種)の樹木による苗木を育てる	愛知県額田郡
5 市民団体	アニマルバスウェイ研究会	アニマルバスウェイの普及「広げよう野生動物の歩道橋」	山梨県北杜市
6 市民団体	NPO法人 国際ボランティア学生協会	琵琶湖オオハナミズキンバイ除去大作戦	東京都世田谷区
7 市民団体	NPO法人 英田上山棚田	英田上山棚田再生プロジェクト	岡山県美作市
8 市民団体	NPO法人 ツシマヤマネコを守る会	ツシマヤマネコの保護活動	長崎県対馬市
9 市民団体	NPO法人 連野まごころネット	コミュニティ農園「まごころの郷」での自然と共存した被災地復興支援	岩手県遠野市
10 市民団体	NPO法人むさしの里山研究会	生物多様性保全にむけた耕作放棄地の活用	埼玉県大里郡
11 市民団体	青森県立名久井農業高等学校 草花班	国立公園におけるサクソソウ自生地の保全活動	青森県南郷町
12 市民団体	大阪府立枚岡緑風高校 農と自然系列	守れ！国産オオムササギ！地域に育む保全の輪	大阪府東大阪市
13 市民団体	臼澤鹿子語保存会	岩手県被災地での「神の森」ドノキ植樹プロジェクト	岩手県大槌町
14 市民団体	認定NPO法人 ときわ山里文化研究所	流域市民との交流で山間地域の資源を生かした循環と伝承文化の継承	埼玉県比企郡
15 市民団体	まるやま組 ※つたえよう部門でも応募	アエノコト	石川県輪島市
16 市民団体	特定非営利活動法人NATURAS	サケの秘密探検隊	北海道八雲町
17 市民団体	一般社団法人 山岳環境研究所	人口雪スキー場のゲレンデを利用した草地環境の生物多様性回復	長野県北安曇郡
18 市民団体	東京湾再生官民連携フォーラム	フォーラムの活動	東京都港区
19 市民団体	NPO法人 棚田LOVER's	みんなで守ろう！のちのちの棚田	兵庫県神崎郡
20 市民団体	NPO法人どんぐり1000年の森をつくる会	豊かな風土を未来の子供たちに伝えるための植樹活動	宮崎県都城市
えらぼう部門			
1 企業	中越パルプ工業株式会社	日本の森と里山を守り、人と生物を育む紙「里山物語」	東京都
2 企業	積水ハウス株式会社	「5本の樹」…お客様と一緒に累積1000万本	大阪府大阪市
3 市民団体	地球環境関西フォーラム	親しみやすく、分かりやすい、生物多様性マンガ等の情報発信	大阪府大阪市
4 市民団体	NPO法人河北潟湖沼研究所	生きもの元氣米	石川県河北郡

受賞団体

【大賞】

「アエノコト」まるやま組（市民団体） 石川県輪島市

※まもろう部門でも「優秀賞」を受賞



奥能登にはアエノコトという農家が田の神様に収穫の感謝と豊穰を願う農耕儀礼（ユネスコ無形文化遺産）があります。まるやま組ではこの儀礼と毎月の田んぼの生物調査をつないで少し趣向を変えたアエノコトを行っています。調査で見つかった生き物の名前を記した「依り代」を手にとり田んぼで神様を呼び寄せ家に招き入れ、食の安全と豊作に感謝します。



【優秀賞】

たべよう部門：「日和キッチン」日和キッチン（個人） 宮城県石巻市



コンセプトは、よそ者目線で“新たな石巻の食文化”を開拓すること。石巻の食とレシピを研究・発掘・開発し、それらを観光資源化するための拠点として、街に埋もれていた築100年の古民家をリノベーションしおうちごはんとジビエ料理の「日和キッチン」というレストランを運営しています。



ふれよう部門：「知ろう伝えよう外来生物のこと」

石垣市立伊原間中学校（市民団体） 沖縄県石垣市



毎年1年生を対象に、島内で問題となっている特定外来生物のオオヒキガエルを教材として、生物実験を含む環境教育プログラムを実施。生物多様性保全への理解と関心を高めています。



つたえよう部門：「「渋川いきものがたり」～ふるさとのすばらしさを伝えよう～」

渋川いきものがたり作成支援委員会（市民団体） 滋賀県草津市



渋川小学校の全校児童の「生きもの学習」をサポートする組織（地域住民や団体の代表、行政、研究機関、子ども代表、教職員など、約80名が参加）。子どもたちが「渋川生きもの絵図」、「渋川いきものがたり紙芝居」を制作する活動を支援しています。



えらぼう部門：「生きもの元気米」

NPO法人河北潟湖沼研究所（市民団体） 石川県河北郡



農薬の空中散布をしない、畦の除草剤を使わない「生きもの元気米」。田んぼ一枚ごとに生きもの調査をして、その田んぼにいる生きものをパッケージに表示します。どこのどんな田んぼで誰が作ったかがわかるお米です。



受賞団体

【復興支援賞】

「岩手県被災地での『神の森』ドロノキ植樹プロジェクト」

臼澤鹿子踊保存会（市民団体） 岩手県大槌町



400年の歴史を持つ臼澤鹿子踊は、東日本大震災の被災地・岩手県大槌町の伝統芸能です。このプロジェクトでは、鹿子頭に用いるカンナガラ（漆）の材料であるドロノキを植樹し、伝統芸能と地域の自然を守っていきます。



【グリーンウェイブ賞】

「JP子どもの森づくり運動『東北復興グリーンウェイブ』」

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（市民団体） 東京都



全国の幼稚園・保育園の子どもたちが東北の“どんぐり”を苗木に育て、東北に送り返し、「東日本大震災」被災地の緑の復興に寄与しようという活動です。子どもたちが“どんぐり”の絆で結ばれ『共生』の心を育みます。



【セブン-イレブン記念財団賞】

「みんなで頑張る。棚田の生物多様性の普及啓発活動」

特定非営利活動法人大山千枚田保存会（市民団体） 千葉県鴨川市



千葉県鴨川市の棚田地帯「大山千枚田」を拠点に、棚田保全活動に参加する都市住民と地元農家が協働して地域の里山の生きもの調査を続けています。その結果を基にした普及啓発のための媒体作りや自然観察会も実施しています。



受賞団体

【審査委員賞】

「国立公園におけるサクラソウ自生地の保全活動」

青森県立名久井農業高等学校 草花班（市民団体） 青森県南部町

三陸復興国立公園の種差海岸にある絶滅危惧種サクラソウ自生地の長期存続を目的に詳しい環境調査を行い、絶滅の危険性の高いクローン集団であることを解明。専門家と連携して人工授粉による多様性維持に挑んでいます。



「紙芝居、絵本を活用した判りやすい環境教育」

海と空の約束プロジェクト（市民団体） 兵庫県明石市

子ども達や無関心層に判りやすい環境教育を行うため環境絵本「海と空の約束」を出版。兵庫県立大学のサークルなどと共に国内外で多様なセクターと協働して紙芝居や絵本を使った環境教育活動を行っています。



「カシニワ・フェスタ」カシニワ・フェスタ実行委員会（市民団体） 千葉県柏市

2013年から毎年5月に千葉県柏市内約70カ所の市民団体や個人などが整備をしている緑地を一斉公開し、各々の緑地で自然の恵みを体感してもらう様々なイベントを実施するカシニワ・フェスタを開催しています。



「美味しい！楽しい！ためになる！ We♥中海」

認定NPO法人自然再生センター（市民団体） 島根県松江市

子ども達や地域の方々と中海に「触れる」・中海の恵みを「味わう」ことで、私達が守るべき生きもののサイクルや自然と人との関わりを伝えていく活動です。地域住民に愛され、守られる中海を取り戻すために行います。



「親しみやすく、分かりやすい、生物多様性マンガ等の情報発信」

地球環境関西フォーラム（市民団体） 大阪府大阪市

環境や生物多様性に余り関心がない人も受け入れ易いように、「環境」「生物多様性」等の言葉を前面に出さず、生活の中の身近な関心事と結びつけて分かり易く伝えるマンガを作成し生物多様性の普及促進に活用しました。



「グローバル64拠点で取り組む生物多様性保全活動と主流化への貢」

東芝グループ（企業） 東京都

グローバル64拠点で生物多様性保全活動を展開。2015年までに全拠点でピオトープを整備することを目指しています。生物多様性の主流化への貢献も視野に入れて、世界各地で従業員家族や地域住民と連携しています。



受賞団体

【入 賞】

※五十音順（活動名-団体名-活動拠点）で掲載

- ・英田上山棚田再生プロジェクト / NPO法人 英田上山棚田団 (岡山県美作市)
- ・スティル〜進化した絶滅種〜 / アウリンコ (東京都中野区)
- ・Let'sみんなで里山あそび♪@旧橋町 / あきさわ園〜Let'sみんなで里山あそび♪ (神奈川県小田原市)
- ・アニマルパスウェイの普及「広げよう野生動物の歩道橋」 / アニマルパスウェイ研究会 (山梨県北杜市)
- ・生物や文化の多様性を体感するワークショップ「宇宙箱舟ワークショップ」 / 宇宙箱舟製作委員会 (京都府京都市)
- ・「島のおすそわけ」〜自然の恵みからの商品づくり / 浦戸諸島のおかあさん (宮城県塩釜市)
- ・エコマジシャン ミヤモ / エコマジシャン ミヤモ (東京都練馬区)
- ・王子の森・自然学校 / 王子ホールディングス株式会社 (東京都)
- ・守れ！国蝶オオムササギ！地域に育む保全の輪 / 大阪府立枚岡樟風高校 農と自然系列 (大阪府東大阪市)
- ・奥羽自然観察会 / カタクリの会 (岩手県西和賀町)
- ・心の畑も耕せる農家でありたいための地道な歩み / 季の野の台所 (愛知県知多郡)
- ・京都駅ビル環境共生推進プロジェクト / 京都駅ビル開発株式会社 (京都府京都市)
- ・琵琶湖オオバナミズキンバイ除去大作戦 / NPO法人 国際ボランティア学生協会 (東京都世田谷区)
- ・市民で育てる100年の森 / 特定非営利活動法人こんぶくろ池自然の森 (千葉県柏市)
- ・ズーオリエンテーリング / 埼玉県こども動物自然公園 (埼玉県東松山市)
- ・体験農園ベジフレ / 一般社団法人サステナビリティ・エンパワーメント (千葉県柏市)
- ・人口雪スキー場のグレンデを利用した草地環境の生物多様性回復 / 一般社団法人 山岳環境研究所 (長野県北安曇郡)
- ・JTB地球いきいきプロジェクト〜渡良瀬遊水地“ラムサール条約湿地登録1周年記念” 生井桜つつみの清掃と「ふゆみずたんぼ」稲刈り体験〜生産者と消費者が一緒に取る地産地消の食事 / 株式会社ジェイティービー (栃木県小山市)
- ・自然体感塾ワンダースクール / 自然体感塾ワンダースクール (東京都練馬区)
- ・自然体験教育 / 青少年みどり遊楽舎 (神奈川県横浜市)
- ・お台場の海について / 聖心女子学院初等科 MA・A (東京都世田谷区)
- ・コウノトリ米を食べて豊岡の田んぼを守る！ / 世界一田めになる学校 豊岡クラス (兵庫県豊岡市)
- ・「5本の樹」…お客様と一緒に累積1000万本 / 積水ハウス株式会社 (大阪府大阪市)
- ・ソニーの森（在来種）の樹木による苗木を育てる / ソニーイーエムシーエス株式会社幸田サイト (愛知県額田郡)
- ・カワバタモロコの飼育・保護拡大 / 株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社姫路半導体工場 (兵庫県揖保郡)
- ・コミュニティ農園「まごころの郷」での自然と共存した被災地復興支援 / NPO法人 遠野まごころネット (岩手県遠野市)
- ・生物多様性保全にむけた耕作放棄のうちの活用 / NPO法人むさしの里山研究会 (埼玉県大里郡)
- ・みんなで守ろういのちの棚田 / NPO法人 棚田LOVER's (兵庫県神崎郡)
- ・日本の森と里山を守り、人と生物を育む紙「里山物語」 / 中越パルプ工業株式会社 (東京都)
- ・フォーラムの活動 / 東京湾再生官民連携フォーラム (東京都港区)
- ・流域圏市民との交流で山間地域の資源を生かした循環と伝承文化の継承 / 認定NPO法人 ときがわ山里文化研究所 (埼玉県比企郡)
- ・図書館で「生物多様性の本箱」が読めるよ TRC普及啓発プロジェクト / 株式会社図書館流通センター (東京都文京区)
- ・冒険の森づくり / 富山森のこども園 (富山県富山市)
- ・豊かな風土を未来の子供たちに伝えるための植樹活動 / NPO法人どんぐり1000年の森をつくる会 (宮崎県都城市)
- ・サケの秘密探検隊 / 特定非営利活動法人NATURAS (北海道八雲町)
- ・表浜BLUE WALK / 虹のとびらBLUEWALKグループ (愛知県豊橋市)
- ・JAL Happy Eco Project / 日本航空株式会社 (東京都)
- ・みんなで作る魚図鑑 / 株式会社パディ・アジア・パシフィック・ジャパン (東京都渋谷区)
- ・ハチ育〜みつばちと自然と私達を繋げる〜 / 一般社団法人ハニーファーム (愛知県名古屋市中)
- ・飯能市エコツーリズム「ヤマムスメが行く」 / 飯能市エコツーリズム活動市民の会「ヤマムスメが行く」実行委員会 (埼玉県飯能市)
- ・生物多様性保全 / 特定非営利活動法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパン (東京都品川区)
- ・土地に根ざした学びの場・まるやま組 / まるやま組 (石川県輪島市)
- ・ふるさとの森づくり / YKK株式会 (富山県黒部市)

生物多様性アクション大賞2014 授賞式

◎ 概要

2014年11月30日（日）に生物多様性アクション大賞2014授賞式を開催しました。表彰に加え受賞団体によるショートプレゼンテーションやワークショップなどの企画を用意し、生物多様性を推進する仲間同士の交流を楽しんでいただきました。

1. 開催日時＆プログラム

2014年11月30日（日）

13：00 受付

13：30 表彰・プレゼンテーション

14：50 大賞発表

15：30 ワークショップ

16：30 終了

2. 会場 在日本韓国YMCAアジア青少年センターYMCA Hotel
(東京都千代田区猿楽町2-2-5)

3. 登壇者（登壇順・敬称略）

堀上 勝（環境省 生物多様性施策推進室長）

坂田昌子（UNDB市民ネット）

太田慶太（森ビル株式会社環境推進室室長）

東 良一（環境goo プロデューサー）

勝又正治（前田建設工業株式会社執行役員 CSR・環境担当）

能勢泰祐（積水化学工業株式会社CSR部環境経営グループ）

岩間芳仁（経団連自然保護協議会）

前田直登（国土緑化推進機構 副理事長）

伊藤順朗（セブン-イレブン記念財団）

星野智子（日本自然保護協会）

吉田正人（筑波大学 教授／審査委員長）

川廷昌弘（CEPAジャパン 代表）

ワークショップ…森良（CEPAジャパン理事）

4. 司会進行（敬称略）

櫻田彩子（オーケープロダクション）

生物多様性アクション大賞2014 授賞式

◎ 表彰状授与



たべよう部門優秀賞
『日和キッチン』



ふれよう部門優秀賞
『石垣市立伊原間中学校』



つたえよう部門優秀賞
『渋川生きものがたり作成支援委員会』



まもろう部門優秀賞
『まるやま組』



えらぼう部門優秀賞
『NPO法人河北潟湖沼研究所』

生物多様性アクション大賞2014 授賞式

◎ 表彰状授与



復興支援賞
『臼澤鹿子踊保存会』



グリーンウェイブ賞
『NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク』



セブン-イレブン記念財団賞
『特定非営利活動法人大山千枚田保存会』



審査委員賞 (写真右から) 『青森県立名久井農業高等学校 草花班』 (青森県南部町) / 『海と空の約束プロジェクト』 (兵庫県明石市) / 『カシニワ・フェスタ実行委員会』 (千葉県柏市) / 『認定NPO法人自然再生センター』 (島根県松江市) / 『地球環境関西フォーラム』 (大阪府大阪市) / 『東芝グループ』 (東京都)

生物多様性アクション大賞2014 授賞式

◎ 結果発表



大賞：まるやま組「アエノコト」

審査員長からのコメント

「今回大賞に選ばれた『まるやま組』の活動は日本の文化をととても大事にすると同時に、食べるということを通じて、その背後にある生物多様性や自然への感謝の気持ちを伝えるという、私たち日本人が今まさに忘れてきている非常に大切なことを守り伝えている活動というところが評価されました。おめでとうございます」

◎ 集合写真





「生物多様性の本箱」 寄贈2014+イベント出展 (経団連自然保護協議会様 指定寄付)

* 福島県相馬市

NPO法人松川浦ふれあいサポート

(相馬市尾浜字札ノ沢 松川浦環境公園内)

* 福島県福島市

福島オヤコサロン「BONHEUR DE SAKURA merci(ボヌールド・サクラ・メルシイ)」

(福島市天神町)

NPO法人松川浦ふれあいサポート (2015.1.27)



相馬副市長、民生部、衛生部ほか臨席

平成27年度活動予定
「生物多様性の本箱」読書会、貸出
「松川浦の生き物」についての学習会
「松川浦干潟の生き物」現地観察会

ポヌールド・サクラ・メルシィ (2015.1.28)



親子サロンでの
常設展示

未就学児＋母
親のバザー、
読み聞かせ会
などのイベント
での活用

エコプロダクツ2014 (2014.12.11-13 於:東京ビックサイト)



生物多様性ナレッジスクエア
への出展・スタンプラリー、
普及啓発ツールの配布



未来の日本、世界を背負う子どもたちが、自然のしくみやつながりに感動したり、その大切さや人と自然のかかわりを楽しんで理解しながら育つことは、持続可能な社会づくりの基盤として最も大切なことのひとつです。

国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）では、生物多様性の理解、普及啓発を推進するため、UNDB-J推薦「子供向け図書」（愛称：「生物多様性の本箱」～みんなが生きものをつながる100冊～）を選定し、全国各地へ寄贈する活動を行っています。

選定された推薦図書100冊は幼児から小中学生までを対象とした絵本や図鑑、読み物や写真集が網羅され、大人が読んでもビジュアルでわかりやすい表現や、見えない世界を見せてくれる本ばかりです。子ども向けの図書ですが、世代を問わず生物多様性の理解促進につながる効果が期待できます。

全国で開催される読み聞かせ会や展示、貸出などの活用を行う施設や団体に寄贈するため、この「生物多様性の本箱」の特別寄贈寄付・協賛をする企業、団体を募集しています。



寄贈活動を支える一員として寄贈活動、UNDB-Jの生物多様性普及活動にご賛同をお願いします。

「生物多様性の本箱」 基本セット (約100冊+送料) 指定寄付：30万円 指定協賛：30万円（税別）	「生物多様性の本箱」 幼児～小学生絵本セット (約70冊+送料) 指定寄付：20万円 指定協賛：20万円（税別）	オプション ・寄贈元名入り木製プレート 指定寄付：5,000円 指定協賛：5,000円（税別） ・国産間伐材本棚：30,000円～（税別）
--	---	--



■ 問い合わせ先

・国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）事務局
（環境省自然環境局自然環境計画課 生物多様性施策推進室）
〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2
shizen-suishin@env.go.jp

・UNDB-J Iki・Tomo 推進事務局
（（公財）日本自然保護協会 UNDB-J 推薦図書担当）
undbj@nacsj.or.jp TEL:03-3553-4101



地球のいのち、つないでいこう

2011-2020 国連生物多様性の10年



国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）推薦「子供向け図書」 「生物多様性の本箱」～みんなが生きものをつなげる100冊～

●● 絵 本 ●●			
no.	タイトル	著者等	出版 発行
【幼 児】			
1	海と空の約束	著：にしたに ひろし 絵：ありむら あや	19
2	カモのきょうだいワリとゴマ	著：なかがわちひろ	3
3	しまふくろうのみずうみ	著：手島圭三郎	59
4	地面の下のいきもの	著：松岡達英・大野正男	47
5	14ひきのシリーズ（全12巻）	著：いわむらかずお	56
6	大しげんと動物たち	著：C.W. ニコル 監修：田中康夫 訳：千葉茂樹	42
7	たねいっぱいわらったね	著：近藤薫美子	3
8	ちきゅうのうえて いのちのたびのおはなし	著：沢田としき	12
9	ツデーのうんちは どこいった？	著：越智典子 イラスト：松岡達英	9
10	のにつきー野日記	著：近藤薫美子	3
11	みんなおなじでもみんなちがう	著：奥井一満 写真：得能通弘	47
12	村上康成の くやまめのピンク>シリーズ（全4巻）	著：村上康成	38
13	りんごとちょう	著：イエラ・マリ イラスト：マリ	56
【幼児～小学校低学年】			
14	まあいいいのちー ノエルの不思議な冒険 -	著：うた：イルカ	25
【小学校低学年】			
15	あめ じょあじょあ	著：イ・ミエ、絵：田島征三 訳：おたけさよみ	20
16	いきているひかり	著：シリ・バロブ・ベニー・デナム 訳：さくまゆみこ	46
17	生きものいっぱい ゆたかなちきゅう	うた：本川達雄 え：ワタナベケンイチ	30
18	いきることは つながること。	著：あいはろひろゆき 絵：tupera tupera	11
19	いのちのいれもの	作：小菅正夫 絵：堀川真	23
20	いのちのつながり	著：中村連 イラスト：佐藤直行	47
21	エゾオオカミ物語	著：あべ弘士	16
22	かあさんふくろう	著：イギリス・サッチャー・ハード イラスト：クリメント・ハード 訳：おひかりこ	9
23	ゴミにすむ魚たち	文・写真：大塚幸彦	16
24	サンゴしょうの海	著：本川達雄 イラスト：松岡達英	47
25	セコイア 世界でいちばん高い木のはなし	著：ジェイソン・チン 訳：萩原信介	47
26	だいいじなドングリ	著：横浜市緑化センター緑 化指導課 緑化活動啓発統 本制作委員会	58
27	たまごのはなし	著：ダイアナ・アストン イラスト：シルビア・ロング 訳：千葉茂樹	56
28	田んぼの昆虫たんけん隊	著：里中遊歩 イラスト：田代哲也	54
29	タンポポたいへん！	著：シャーロット・ミドルトン 訳：アサー・ピナード	27
30	土をつくる生きものたち 雑木林の絵本	著：谷本雄治 イラスト：盛口満	4
31	熱帯雨林のコレクション	著：横塚真己人	49
32	ひろった・あつめた ぼくのドングリ図鑑	著：盛口満	4
33	ぼくとりなんだ	著：和歌山静子	40
34	マザーツリー	著：村田真一 イラスト：松岡達英	25
35	もうひとつのどうぶつえん 絶滅どうぶつものがたり	構成・絵・立体製作：吉川アユコ 文・監修：今泉忠明	4
36	もったいないばあさんと考えよう 世界のこと 生きものがさえる	著：真珠まりこ	16
37	森はだれがつくったのだろう？	著：ウィリアム・ジャスパー・ワ ンイラスト：ヤツウ・エリカ 訳：高橋孝	37
38	森を育てる生きものたち 雑木林の絵本	著：谷本雄治 イラスト：盛口満	4
39	野生の動物を守りたい	著：フランセス・パリー 訳：たにゆき	31

40	山に木を植えました	著：スギヤマカナコ 監修：畠山重篤	16
【小学校低学年～高学年】			
41	いきもの いのち絵本（全5巻）	著：今泉忠明、山崎充哲 アン・ドヒョン他	54
42	いきもの図鑑えほん	著：前田まゆみ	2
43	カキじいさんとしげぼう	文：畠山重篤 絵：徳田秀雄	57
44	世界のふしぎな虫 おもしろい虫	著：今森光彦	3
45	たねのはなし かしくておもしろ いふしぎな、ちいさいいのち	著：ダイアナ・アストン イラスト：シルビア・ロング 訳：千葉茂樹	56
46	みんなでかんがえよう！ 生物多様性と地球環境（全3巻）	編・他：京極徹	4
47	森にいこうよ！	著：C.W. ニコル 監修：田中康夫 イラスト：松岡達英	25
【小学校高学年】			
48	絵ときゾウの時間と ネズミの時間	著：本川達雄 イラスト：あべ弘士	47
49	オールド・ブルー 世界に1羽の母鳥	著：メアリ・テイラー 訳：百々佑子	22
50	切っても切ってもブラナリア 新装版	著：阿形清和 絵：土橋とし子	5
51	生物の消えた島	著：田川日出夫 イラスト：松岡達英	47
52	蝶の目と草はらの秘密	著：ジョニー・ジョフリン イラスト：パス・クロムス 訳：百々佑子、藤田千枝	39
53	ドキドキ！ 地球のなかつたたち（全12巻）	写真・文・他：海野和男	26
●● 読み物 ●●			
no.	タイトル	著者等	出版 発行
【小学校低学年】			
54	こちろき節亀有公園前派出所 両さんの生物大達人	著：キヤラウー原作：秋本治 監修：雨田香穂	24
55	自然科学読み物 生きものちえ （全5巻）	著：伊藤年一 監修：今泉忠明	10
【小学校低学年～高学年】			
56	いきものがたり - 生物多様性 11の ビジュアルエコブックシリーズ（全3巻）	企画監修：山本良一 編著：Think the Earth	33
【小学校高学年】			
57	池上影のニュースに登場する 世界の環境問題 6動物の多様性	著：アンジェラ・ロイストン 監修：池上影、訳：稲葉茂樹	22
58	おしえて！さかなクン1～3	著：さかなクン	8
59	川は生きている	著：富山和子	17
60	里山のおくりもの	著：今森光彦	29
61	ツシマヤマネコつて、知ってる？ ～絶滅から救え！わたしたちができること～	著：太田京子	4
62	ハクチョウ水べに生きる	著：嶋田哲郎 写真：伊藤利喜雄	21
63	干がたは海のゆりがご 東京湾の海を守る	著：川嶋康男 イラスト：すすきも	7
64	琵琶湖のカルテ	著：今関信子	50
65	みみずのカーロ シェーファー先生の自然の学校	著：今泉みね子	18
66	森は生きている	著：富山和子	17
67	野生のゴリラと再会する一十六年前の わたしを覚えていたタイタスの物語	著：山極寿一	14
68	0.1ミリのタイムマシン ～絶滅の過去と未来が化石から見えること～	著：須藤斎	15
【中学生】			
69	生きもの地図をつくろう	著：浜口哲一	5
70	さとやまー生物多様性と生態系 模様 < 知の航海シリーズ >	著：篤谷いづみ	5
71	サンゴとサンゴ礁のはなし ～南の海のふしぎな生態系	著：本川達雄	35
72	図説 木のすべて（全5巻）	監修：小沢昭博 著：①山岡好夫/②③三輪健四 郎/④小沢昭博/⑤田中正則	32
73	生物多様性と私たち ～COP10から未来へ	著：香坂玲	5
74	<生物多様性>入門	著：篤谷いづみ	6
75	樽前山 お花畑で聞いたこと	著・写真：新沼友啓	48

76	鉄は魔法つかい	著：畠山重篤	25
77	日本人は植物をどう利用してきたか	著：中西弘樹	5
78	日本らしい自然と多様性 ～身近な環境から考える	著：根本正之	5
79	マダガスカルがこわれる	著：藤原幸一	55
80	モグラ博士のモグラの話	著：川田伸一郎	5
81	野生動物への2つの視点 「虫の目」と「鳥の目」	著：南正人 高橋成紀	34
●● 図 鑑 ●●			
no.	タイトル	著者等	出版 発行
【幼 児】			
82	こどものずかん Mio（1）むし	絵：村上康成	44
【小学校低学年】			
83	講談社の動く図鑑 MOVE（全7巻）	監修・他：養老孟司	16
84	小学館の図鑑 NEO 昆虫	著：小池啓一、町田龍一郎 森上信夫、小野坂朝、田辺力 間井孝	25
【小学校低学年～高学年】			
85	動物の「跡」図鑑	著：ジョニー・ジョフリン 訳：吉田孝子、日本語版監修： 右田隆雄、石田和子、川田伸一郎	51
86	ドキドキ！生きもの発見 第1期（全5巻）	写真：栗林慧 総合監修：日高敏隆	1・59
【小学校高学年】			
87	おくむらあやお ふるさとの伝承料理（全13巻）	著：奥村啓生 監：榎本やすし、上田みゆき、 上野道大他	41
88	自然図鑑 ～動物・植物を知るために	著：さとうち藍 イラスト：松岡達英	47
89	田んぼの生き物 おもしろ図鑑	著：湊秋作 農村環境整備センター	41
90	地球環境図鑑～わたしたちの 星の過去・現在・未来	監監修：デヴィッド・デ・ ロスチャイルド 監訳：枝廣淳子	55
91	野鳥観察ハンディ図鑑 「新・山野の鳥改訂版」	著：安西英明 イラスト：谷口高司	40
92	野鳥観察ハンディ図鑑 「新・水辺の鳥改訂版」	著：安西英明 イラスト：谷口高司	40
【小学校高学年～中学生】			
93	奇跡のテクノロジーが いっぱい！すごい自然図鑑	監修：石田秀輝	43
94	生物多様性の大研究	監修：小泉武栄	43
95	「ネイチャーウォッチング ガイドブック」海藻	写真：阿部秀樹 海藻おしほ：野田三千代 監修：神谷亮伸	28
【中学生】			
96	自然の中の人間シリーズ （全3編 30巻）	著：西尾道徳、柏崎守、新国 佐幸他 絵：飯島満、森上義 孝、藤田正純他	41
97	どっこい生きてる、ゴミの中	著：伊藤勝敏	53
98	目で見える生命 生き残りをかけた戦い	著：ロバート・ウエストン 訳：大塚道子	22
●● 写真集 ●●			
no.	タイトル	著者等	出版 発行
【小学校低学年】			
99	アリの目日記	著：栗林慧	52
【小学校低学年～高学年】			
100	海中記	写真・文：小林安雅	47
●● その他 ●●			
no.	タイトル	著者等	出版 発行
【小学校高学年】			
101	子供の科学★サイエンスブックス 水生昆虫大集合	著：築地琢郎	28
102	守つてのこそう！ いのちつながる日本の自然（全6巻）	著：篤谷いづみ、畠山重篤 森まさひて、西原昇吾 佐竹朋夫、長堤正行	36
103	野生動物被害から考える環境破壊 今、動物たちに何が起きているのか（全5巻）	監修：三浦慎悟	13

【出版・発行（50音順）】①アスク②あすなろ書房③アリス館④岩崎書店⑤岩波書店（岩波ジュニア新書）⑥岩波書店（岩波ブックレット）⑦絵本塾出版⑧エンターブレイン⑨偕成社⑩学研マーケティング
⑪環境省生物多様性推進推進室⑫教育画劇⑬金の星社⑭くもん出版⑮くもん出版⑯くもんジュニアサイエンス⑰講談社⑱講談社（青い鳥文庫）⑲合同出版⑳神戸新聞総合出版センター㉑光村教育図書㉒小峰書店
㉓さ・え・ら書房㉔サンマーク出版㉕集英社㉖小学館㉗新日本出版㉘鈴木出版㉙徳文堂新光社㉚世界文化社㉛そうえん社㉜大日本絵画㉝大日本図書㉞ダイヤモンド社㉟筑摩書房㊱中央公論新社㊲童心社
㊳童話屋㊴徳間書店㊵富山房㊶日本野鳥の会㊷山田漁村文化協会㊸BL出版㊹PHP研究所㊺ひかりのくに㊻ひさかたチャイルド㊼評論社の福音館書店㊽ふるさと文化セミナー㊾フレーベル館㊿文研出版
㊿文芸堂㊿平凡社㊿保育社㊿星の環会㊿アラビヤ社㊿ほるぷ出版㊿水山養殖場カキの森書房㊿横浜市環境創造局みどりアップ推進課【横浜市緑化センター、（財）横浜市緑の協会（発行当時）】㊿リリオ出版